

退魔師セツナ

5





# セツナ

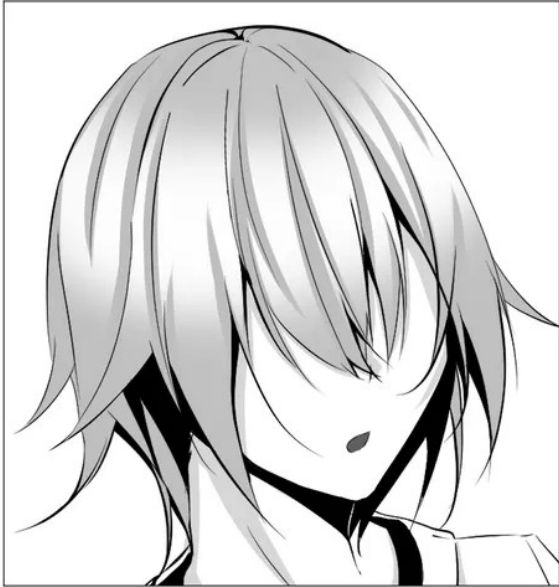
一級退魔師の1人。  
妖魔ムメに敗北してから自身を鍛え直し  
実力を上げている。





## 妖魔ムメ

退魔師協会から特級危険種と認定され、見た目は女性の姿をしているが、セックスの際は男性器を生やすことができる。



## マオ

一級退魔師であり、その実力は退魔師協会のトップを超える。セツナとは肉体関係にあり、両思い？自身の目的の為に退魔師協会を乗っ取る計画を立てている。妖魔ムメを作り出した張本人。

### 【退魔師協会】

多くいる退魔師をまとめ上げ、妖魔を祓う為に作られた組織。しかし裏では…。

# 退魔師セツナ5

退魔師協会  
それは妖魔を祓う退魔師たちを  
まとめあげるために作られた  
組織。



組織が作られた最初こそ、  
妖魔を祓うことに尽力を尽くして  
いたが

しかし、時間が経つにつれて  
組織の内部は大きく  
変わってしまった

組織のトップは自身の欲を  
満たすために妖魔を  
利用し始め

一部の妖魔に知性を、  
与えた

女性退魔師を捕らえ、  
自分たちのところに  
連れてくるよう指示し

そして要が済んだ退魔師は  
闇の中に葬る。



すべて思い通りに進んでいた。  
彼らはこの先も、自身の欲望のままに  
生きていけると思っていた。

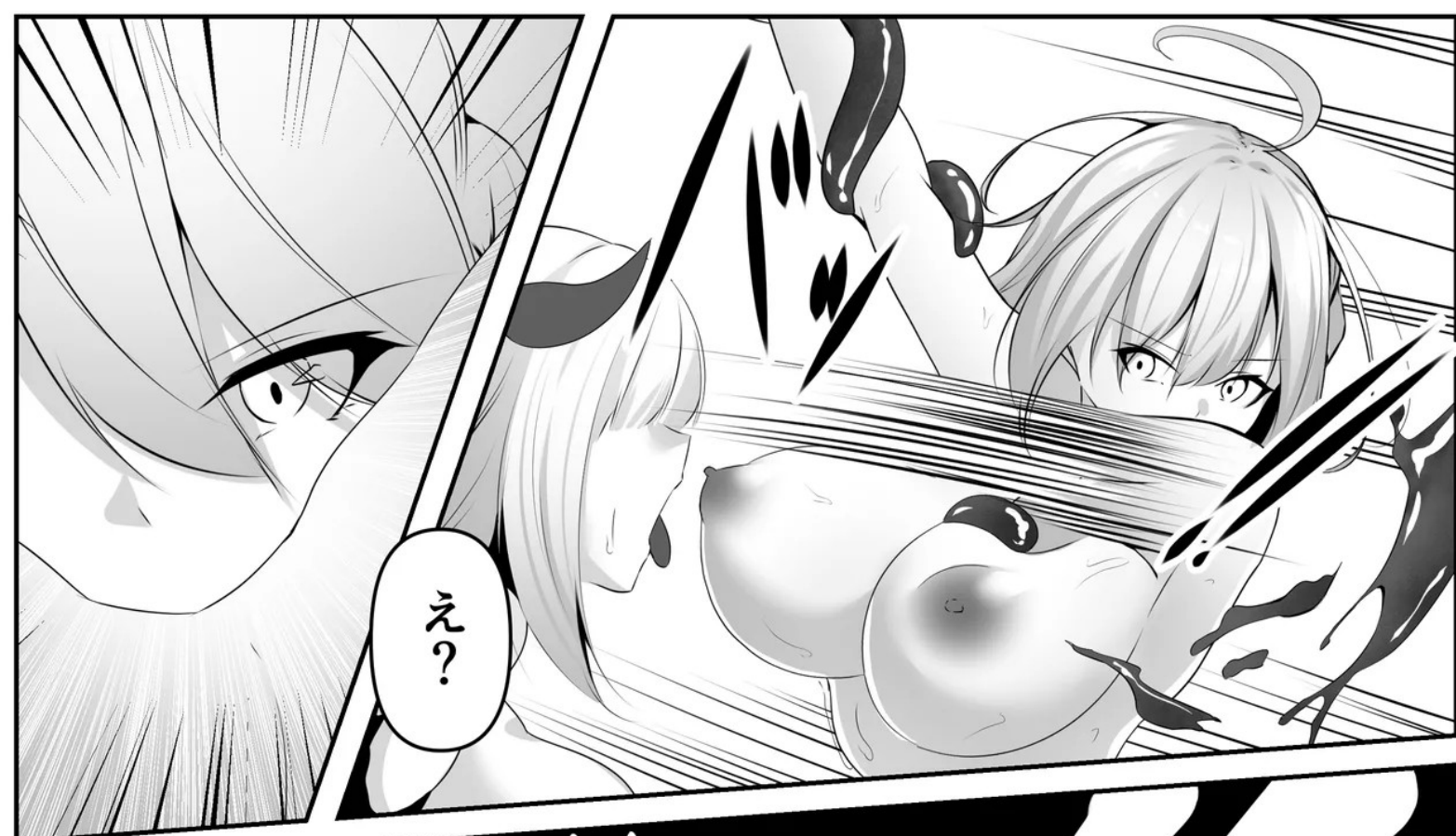
ある退魔師が  
生まれるまでは……





ああ、素敵です。  
セツナ様、皆があなたを  
欲するのがわかります

もう、  
我慢できません



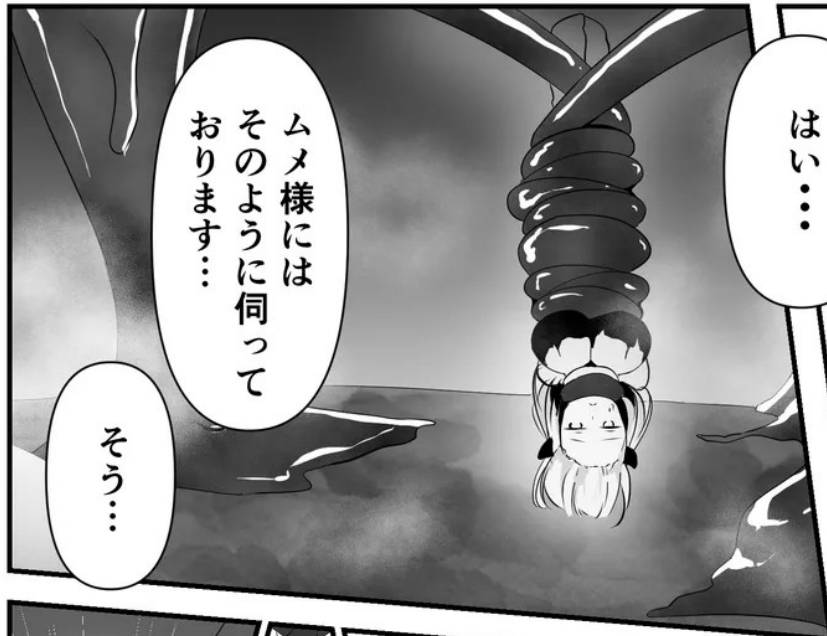
え？



靈装と言うよりは  
楽しむためのもの  
みたいね

私の調教のために  
服を用意してくれてる  
のは、助かったけど

まあ全裸より  
マシか...



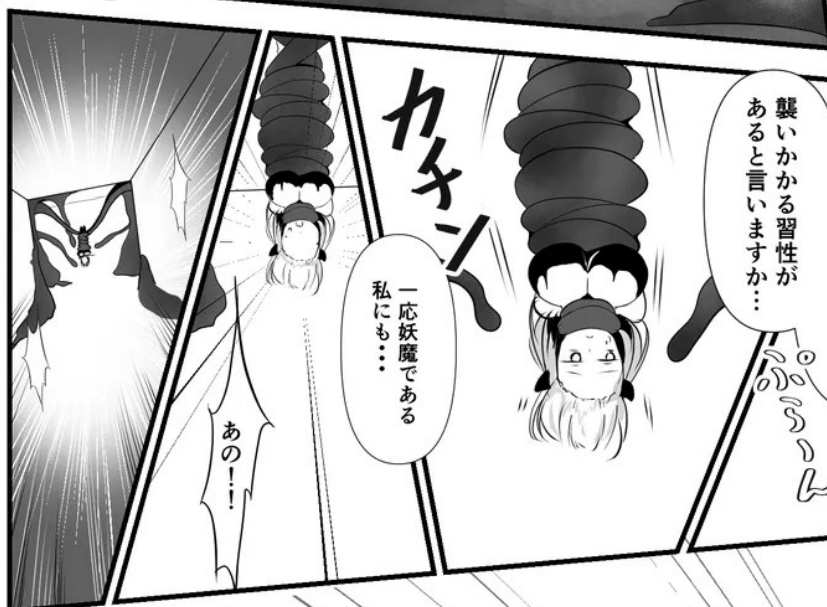
ムメ様には  
そのように伺って  
おります…

そう…

はい…



で？マオはあんたが  
教えてくれた場所に  
いるのね？



一応妖魔である  
私にも…

あの…!!

襲いかかる習性が  
あると言いますか…

この触手、隙のある  
生き物に

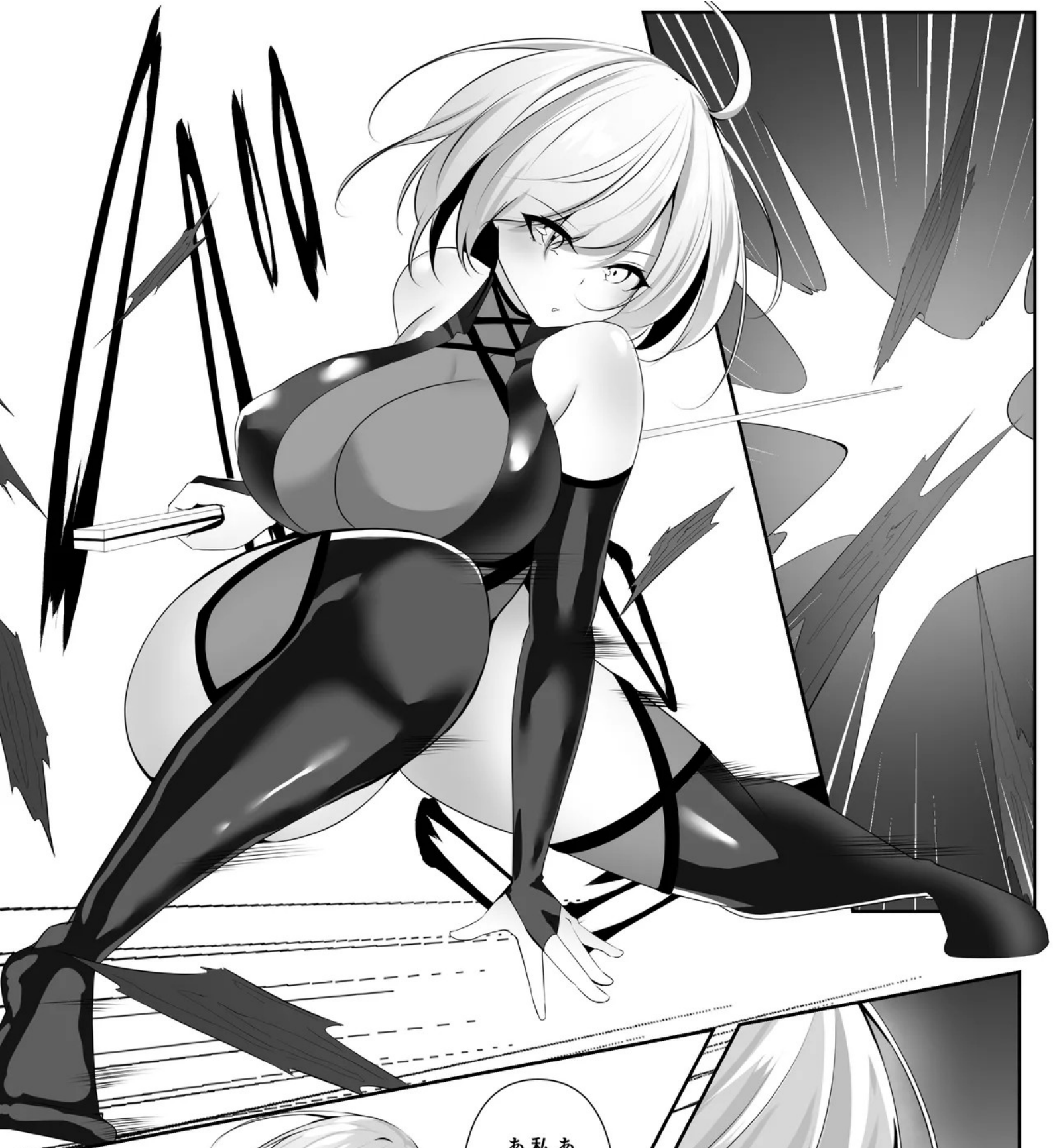


あの、言う通りに  
したので、おろして  
もらえますか？



あの部屋!!





あんたが遅いから  
私から来て  
あげたんじゃない

俺から会いに  
行ってやるって話だったのに  
随分せっかちな

カチカ

全部話してもらおうわよ  
退魔師協会を裏切った  
理由も何もかも

最初っから  
そのつもりだよ…

ただ…

待てができない  
女にはお仕置きが  
必要だと思っけど

どう思う？

ムメ

ご主人様の  
言う通りだと  
思うなあ



しまっ...

あゝ  
ひびく

ひびく



好きな人の前だからって  
油断したらダメよ？  
あゝ、それとも  
ご主人様に組み伏せられ  
たかったの？  
セツナ

くっ...!!

あゝ

あゝ



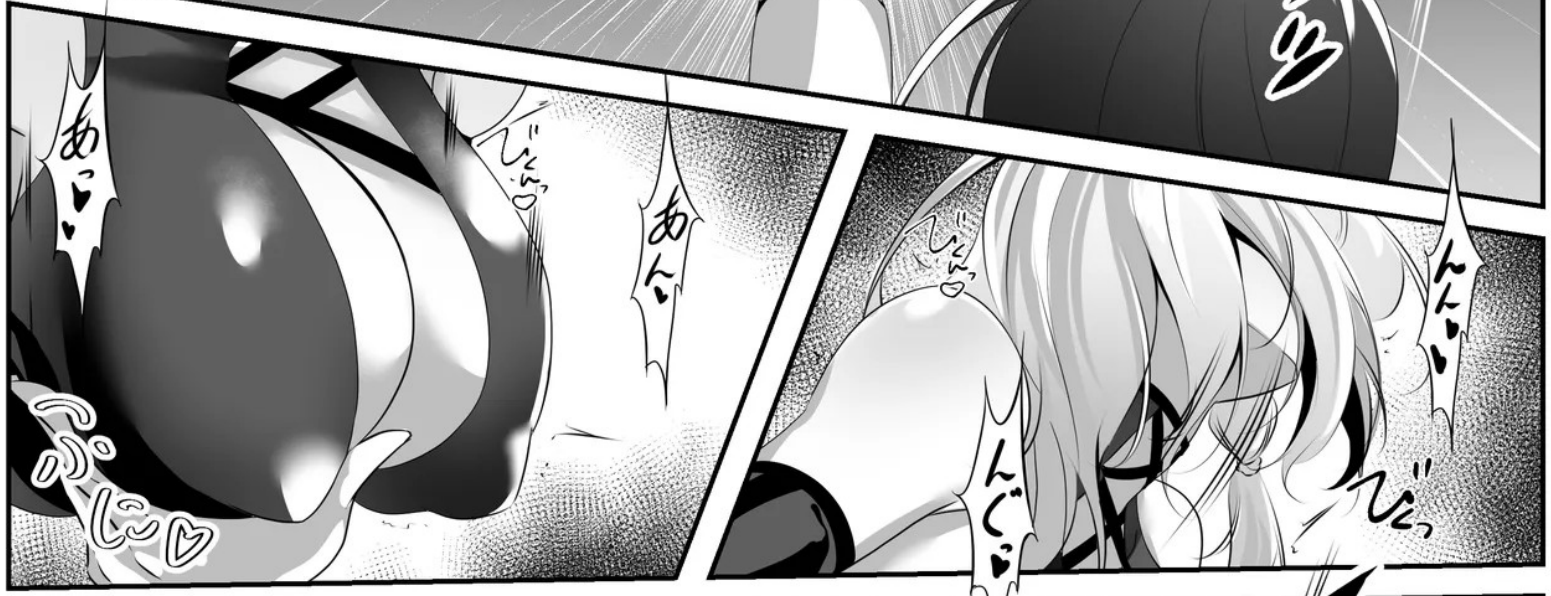


は、はなして!!

あー

はなして!!

はなして!!





まへますい。  
スイッチ:はいって...  
我慢できない

はっ

はっはっ

はっはっ

はっ

はっ

はっ



あれ?もしかして  
もう中はぐちよぐちよ?

ぬちゃ

あゝ

あゝ

あゝ

ごめんね?  
少し浅いところ  
いじってあげる

まさか指を  
入れただけで  
いっちゃった?

あゝ

ぬちゃ

ふ

ふ

ん

ぬちゃ



随分と感度がいいな

そりゃ、私が調教したんですから当然ですよ

ベッドに連れて行きます？

いや、俺はまだやることがある。躰はお前に任せる。

やった♡さすがご主人様



ま、待ってマオー！！

また後でな、セツナ

はいっ  
そこまで♡

おはよう



ご主人様のことばっかり  
考えて酷いなあ

セックスした  
回数は私の方が多いでしょ？

ニヤッ

ぐい

おっしょ

ぐい

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン



セツナの中、  
気持ちいいわ

はま...  
ほら  
こっち見て





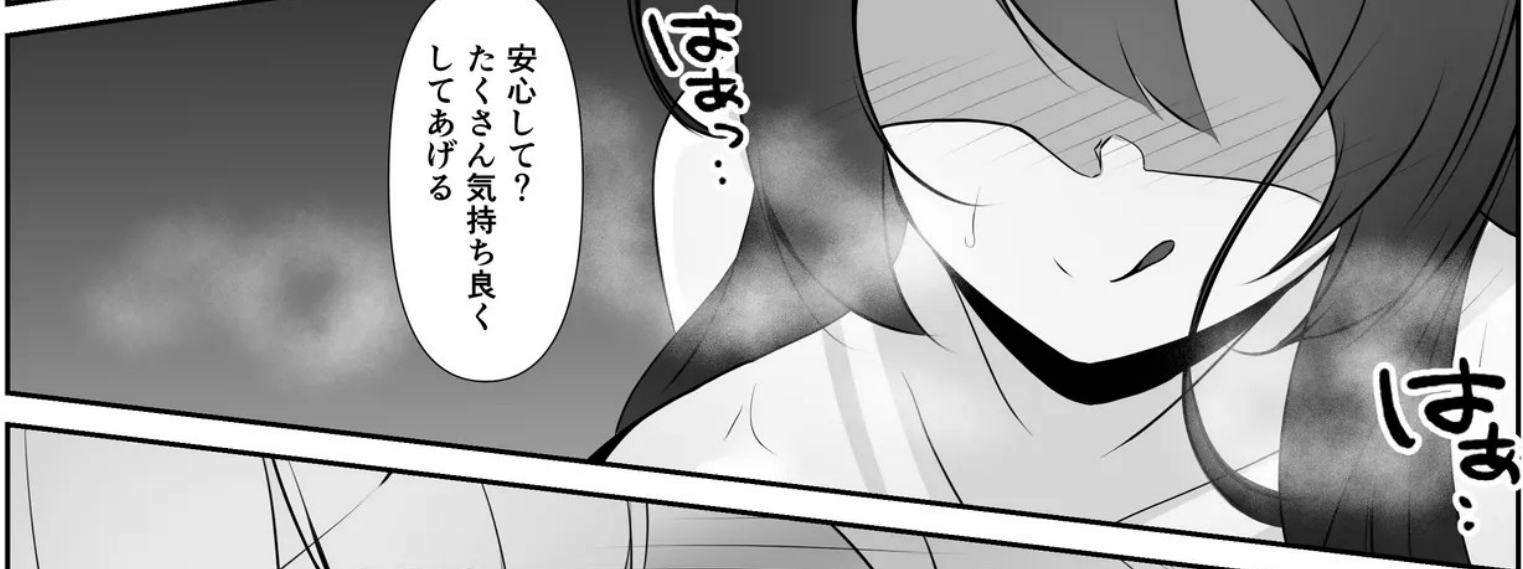
数日ぶりだからね♡  
興奮してきちゃった

すごく激しくても  
セツナなら大丈夫よね？

はぁっ..

はぁっ..

おっい♡



安心して？  
たくさん気持ち良く  
してあげる

はぁっ..

はぁっ..

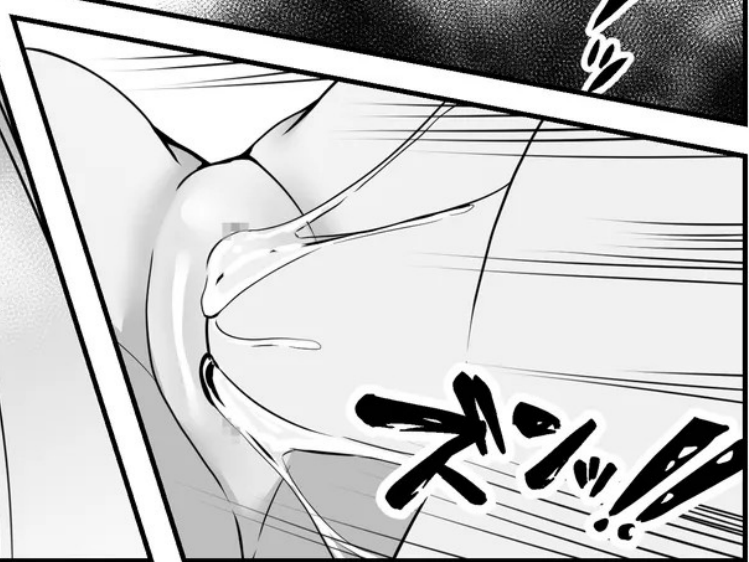
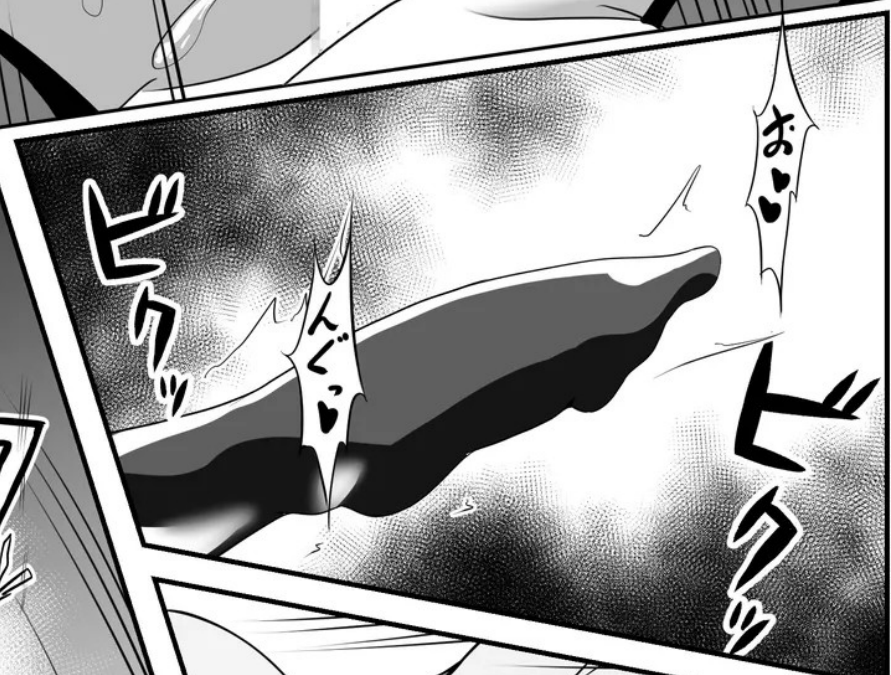


…変態

ふっ

ふっ

ふっ





キレる



キレる

キレる

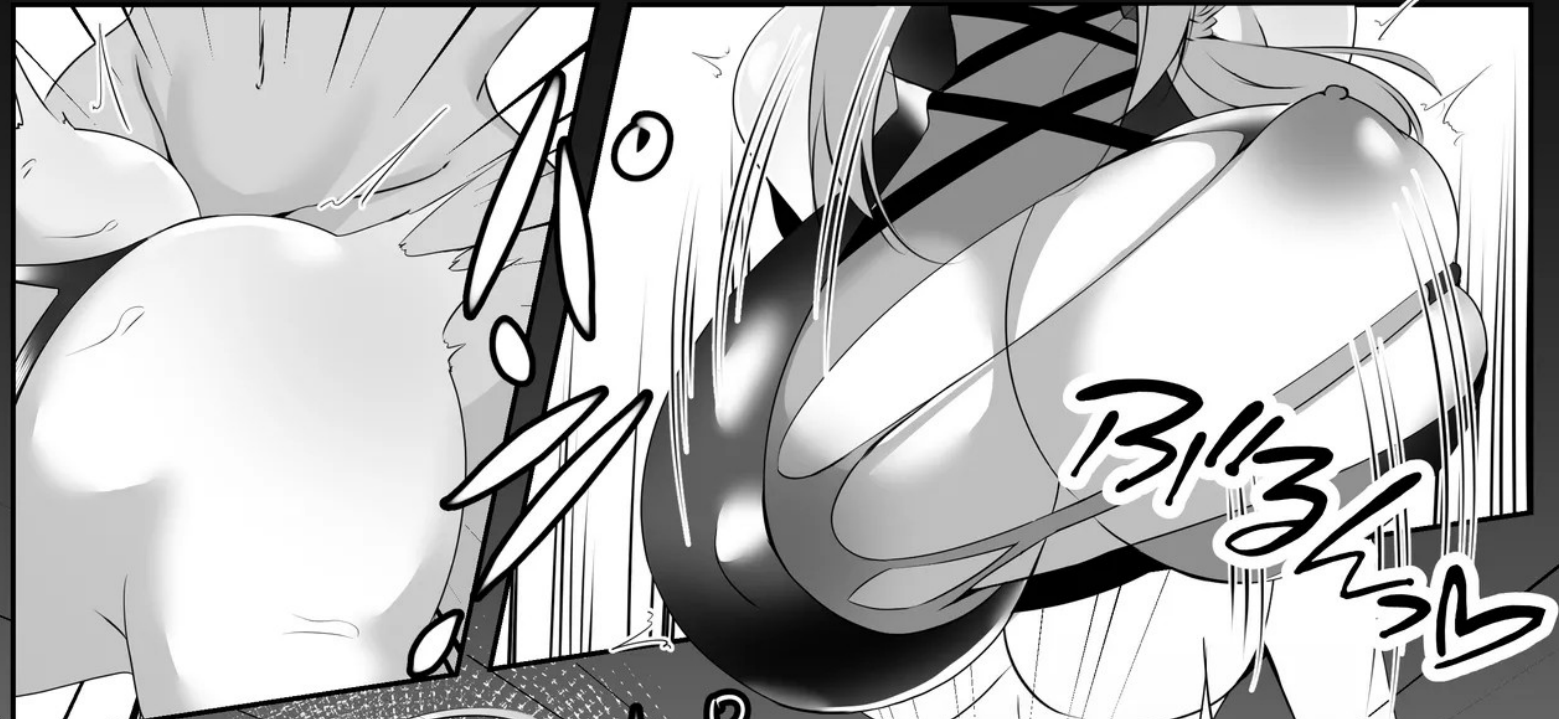


キレる

キレる



キレる



Bling



ああ



やっぱりこの  
ちんぽも...

くそっ...  
ダメだ

はっ

はっ

はっ

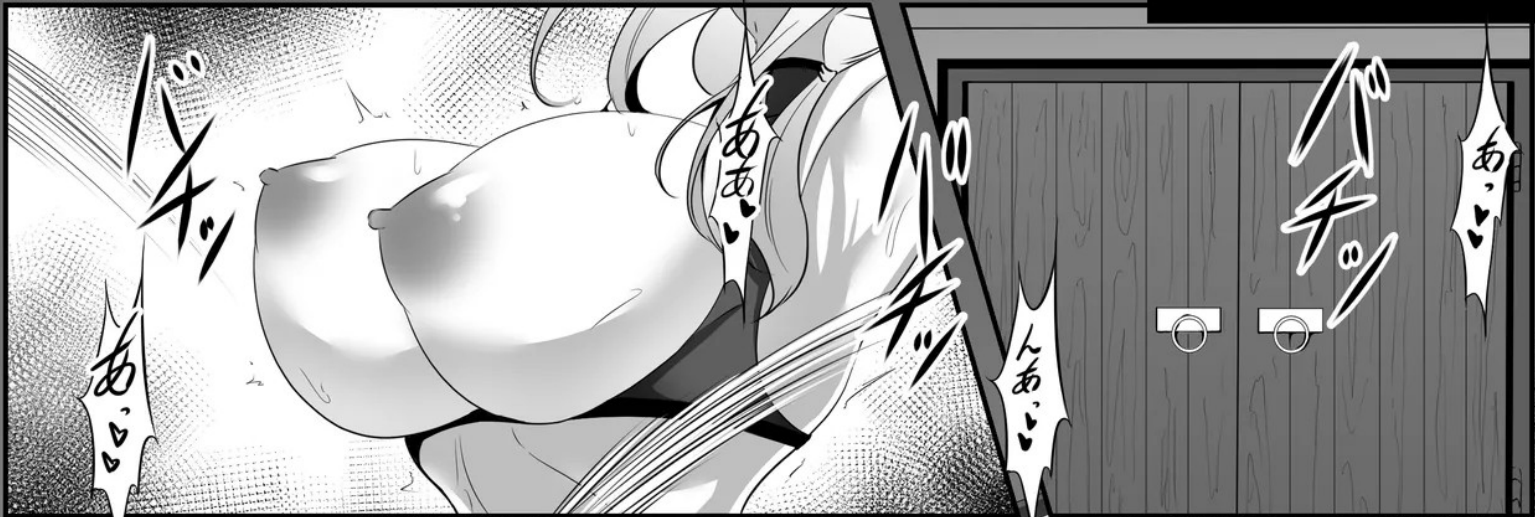


気持ちいい!!!

クワッ  
クワッ  
クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ  
クワッ  
クワッ

クワッ



驕のつもりだったんだけど  
セツナにとっては  
ご褒美だったか？



あの後随分楽しんだ  
みたいだな？



どうして、  
裏切ったの？



退魔師協会で十分な権力と  
地位があったマオが  
妖魔と手を組むメリットが  
あるとは思えない



そんなに気になるか？

お前が初めて妖魔に  
捕らえられたのは、  
まだ二級退魔師の頃だったよな

妖魔ザルザの討伐任務の後、  
帰り道で

別の妖魔に襲われて  
捕らえられた

任務後の奇襲。  
誤った任務の情報が  
増えた頃から

俺は退魔師協会の連中に  
疑念を抱き始めた。

身内の安全を見守りつつ、  
退魔師協会の内部を  
一人で調査すれば、

次々と怪しげな情報が  
出てきた。

自分たちで妖魔を生み出し、  
好みの女性退魔師を見つければ  
襲わせる。

そして、タイミングを見て  
美味しい汁を吸る。

随分と調子に乗った話だ

結果、予想通り  
協会トップの人間が多く  
絡んできたことがわかった。

だからまず一人目を消した。  
お前に手を  
出そうとした奴を…



そいつをやった際、  
妖魔を生み出す方法を聞き出し  
実験的にムメを作り

予想より遥かに優秀な奴が生まれたことで  
協会トップをやったのを  
ムメに押し付けることにした。

私、誕生の秘話!!

ムメが特急危険種なんて階級を  
つけられたのはそれが理由だ。

協会のトップ一人目を始末した後、抜けた穴に俺の  
協力者に入ってもらい、  
情報を集めながら  
協会を乗っ取る準備を始めた。

まあ、色々あって一人は  
隷属の首輪を使って生かすことに  
したんだが、その話は別にいいだろ

準備が、整ったあとはお前も知ってるだろう？  
俺たちは協会の連中を殺し、  
晴れて退魔師の裏切り者になったわけだ。

本来なら、俺が協会トップになる  
予定だったんだが、協会の連中が最後まで  
悪足掻きしたせいで、上手く行かなかった。

と言っても、今退魔師協会に残ってる2人は  
俺の仲間だから、  
実質目的は果たしてるんだけどな

待つて、じゃあ裏で  
悪事を働いてた協会の人達から、  
私達を守るために…

結局のところ  
俺も協会の連中と  
本質は同じだ。

いや？  
それは少し違う

自分のわがままを通したい  
思い通りにしたい。

あいつらと違う点を  
あげるなら女性退魔師へ扱い方  
くらいだ

まったく、長々と話してまずけど  
結局のところ、セツナに手を出したから  
怒って殺しただけでしょ？

他の退魔師の  
被害が少なくなっただけ  
その副産物。

どう？これがご主人様が  
退魔師を裏切った理由。

あなたを守るために  
すごいよね？  
惚れ直したんじゃない？

疑問も解決したし、  
そろそろセックスの続きでも  
しようよ。

お前の出番は  
終わりだ。ムメ

ムメ...

さて、お前が聞きたい事は  
すべて話した。  
この先、お前は どうする？

すま...

どうするって、  
どう言うこと？

退魔師協会の退魔師として  
この先も働くか。  
それとも、俺の側にいるか...

妖魔はこれからも  
自然にどこかに生まれ  
それは祓っていかなければ  
いけない。

俺に会わず、協会の指示を  
受け任務を遂行するのか。

俺の側において、裏の任務を  
遂行していくか。  
好きな方を選んでいい

...私は



なんだ？もう  
いきそうなのか？

そんなわけ、ないでしょ？  
この程度で、  
私が…イクわけ…

その割には  
随分腰を動かすペースが  
落ちてるぞ？

う、うるさい…  
あんたは…黙って  
奉仕されてればいいの

それなら、少し手伝って  
やっても問題なさそう  
だな

なっ、ちよつと…  
勝手な事…





んんんん

んんんん

んんんん

んんんん...

んんんん

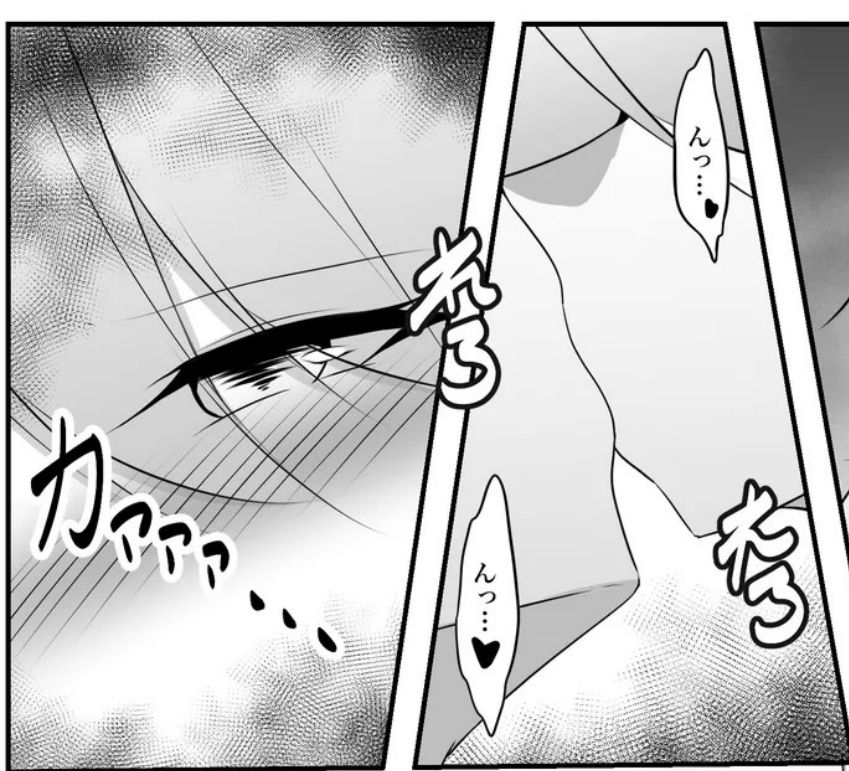
んんんん

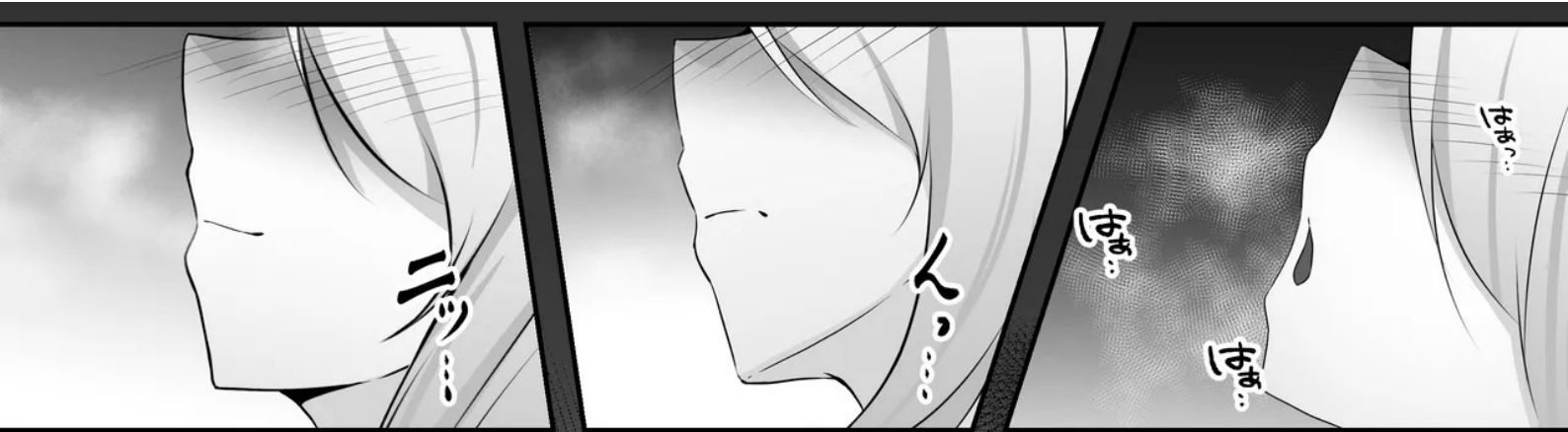
んんんん

んんんん









だった早く、  
私の中に入れなよ

何してるの？  
まだ、終わりじゃないん  
でしょ？

もう私の中に  
ちんぽ

どうせ  
我慢できなくなつて





あんのん

びい

びい

あんのん

びい

あんのん

あんのん

あんのん

あんのん

あんのん

あんのん

あんのん

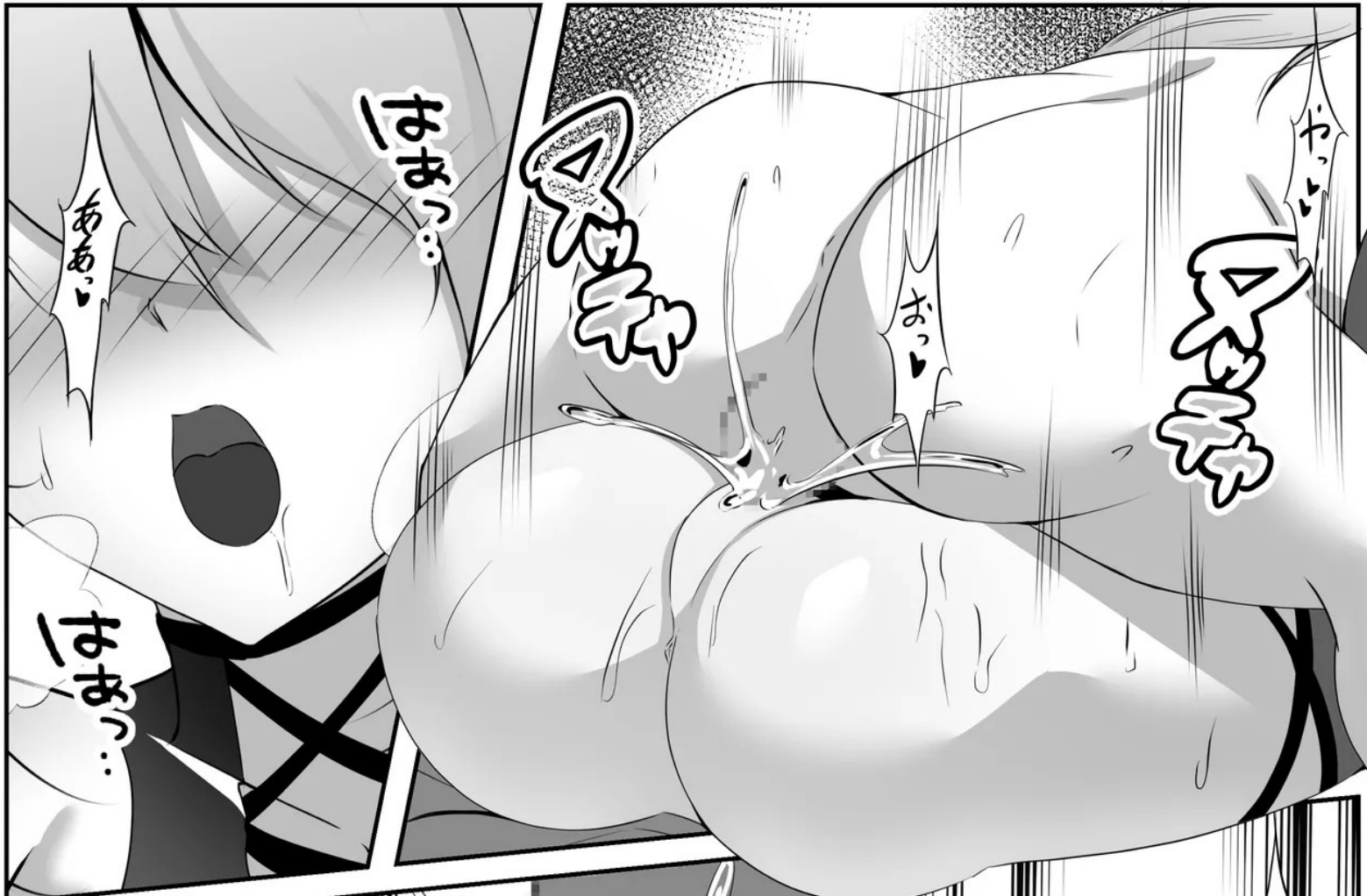
あんのん

あんのん

あんのん

あんのん

あんのん





じゃあ、ここにいる妖魔は  
マオが作ったわけじゃ  
ないんだ

ああ、ムメが  
ポンポン生み出してるな

止めなくて  
いいの？

限度は  
伝えてる

ああ、そう

ねえ、私はこれから何を  
すればいいわけ？

その内指示する。セツナが  
思ってるより、面倒事はまだ  
多いからな

そろそろ  
休憩もいいだろ

ちよつと...

ドサッ



我慢しなくて  
いいからって

がっつき過ぎ  
じゃない？

変態...♡

んっ  
キ

んっ  
キ

はっ

はっ

すっ♡

end

**無断転載・複製**

**WEBへのアップロードは厳禁です。  
18歳未満の購入はお控えください。**

**•No unathorized reproduction is  
allowed.**

